

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●NHKマイルCはダノンスコーピオンが優勝

5月8日(日)に行われたNHKマイルC(G1)ではダノンスコーピオン(牡3歳/栗東・安田隆行厩舎)が勝利、G1初制覇を飾りました。

### ●鷺頭虎太騎手がJRA初勝利をあげる

5月7日(土)の3回中京1日・第5レースではヤマニンゼストが1着となり、同馬に騎乗した鷺頭虎太騎手(栗東・千田輝彦厩舎)は、JRA初勝利(28戦目)をあげました。

### ●藤原英昭調教師がJRA通算800勝を達成

5月7日(土)の3回中京1日・第9レースとして行われた安城特別ではプライムフェイズが1着となり、同馬を管理する藤原英昭調教師(栗東)は、史上38人目、現役4人目となるJRA通算800勝(延べ5267頭目)を達成しました。

### ●武幸四郎調教師がJRA通算100勝を達成

5月8日(日)の1回新潟2日・第7レースではタイミングハートが1着となり、同馬を管理する武幸四郎調教師(栗東)は、現役146人目となるJRA通算100勝(延べ1025頭目)を達成しました。

### ●蛭名正義調教師がJRA初勝利をあげる

5月8日(日)の2回東京6日・第7レースではバニシングポイントが1着となり、同馬を管理する蛭名正義調教師(美浦)は、JRA初勝利(延べ19頭目)をあげました。

### ●JRAブリーズアップセール開催

JRA育成馬をセリ方式で売却する「JRAブリーズアップセール」が、4月26日(火)、中山競馬場にて開催されました。上場された70頭(牡33頭・牝37頭)すべてが売却され、総売却価格は7億7902万円、平均売却価格は牡馬が1104.7万円、牝馬が1120.2万円。最高価格をつけたのは、牡馬がタカミツサクラ2020(父エピファネイア)で3410万円、牝馬はラビアンローズ2020(父デクラレーションオブウォー)で3520万円でした(価格はすべて税込)。

### ●ピンクカメオが死亡

2007年NHKマイルC(JpnI)の勝ち馬で、現役引退後は繁殖牝馬として北海道千歳市の社台ファームに繋養されていたピンクカメオ(牝18歳)は、4月28日(木)に死亡しました。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●北斗盃(門別)は人気のシルトブレ【各地の主要3歳重賞】

北海道三冠の第一関門、北斗盃(4月28日、門別、1600<sup>円</sup>)は、船橋一時移籍から戻った鎌倉記念の覇者シルトブレ(牡、父ワールドエース)が4番手前後から追い上げてゴール前で差し切り、単勝1.5倍の支持に応えました。東海クイーンC(4月21日、名古屋、1700<sup>円</sup>、牝馬)は、4番手を進んだ2番人気の船橋からの遠征馬グラーツィア(父ホッコータルマエ)が残り100<sup>円</sup>を切った辺りで逃げ馬を捉え、北海道在籍時の園田プリンセスCに次ぐ重賞勝ち。ダイヤモンドC(5月1日、水沢、1600<sup>円</sup>)は、北海道デビューで高知、大井を経て岩手に転入した単勝1.9倍で1番人気のグットクレンジング(牡、父コパノリチャード)が3~4番手から3コーナー過ぎに先頭に立って3馬身差の楽勝を収めています。金沢デビュー馬限定戦のノトキリシマ賞(5月1日、金沢、1500<sup>円</sup>、牝馬)は、2番手追走から3、4コーナー中間で抜け出した単勝1.2倍で圧倒的人気のスーパーパンタム(父アポロソニック)が初の重賞制覇。高知三冠初戦の黒潮皇月賞(5月1日、高知、1400<sup>円</sup>)は、中国から外を通して伸びた5番人気のヴェレノ(牝、父プリサイスエンド)が3頭横一線の接戦を制し、単勝1.7倍で1番人気のアンティキティラは2着でした。  
※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1ケンタッキーダービー~伏兵リッチストライクが制す

現地時間5月7日に米国ケンタッキー州のチャーチルダウンズ競馬場で行われたG1ケンタッキーダービー(3歳、ダート2000<sup>円</sup>)は大外20番ゲートのスタートから後方でレースを進めたリッチストライク(牡3歳)が直線で鋭く伸びて優勝。現地の単勝オッズ81.8倍はケンタッキーダービー史上2番目の大穴となりました。3/4馬身差の2着にG2リズンスターSとG2ルイジアナダービーを連勝して臨んだエピセンター、そこから3/4馬身差の3着にG1ブルーグラスSの勝ち馬ゼンダン。C.ルメール騎手を背にした日本のクラウンプライド(栗東・新谷功一厩舎)は先行策から末を失って13着に終わりました。勝ったリッチストライクは父がG1トラヴァーズSの勝ち馬キーンアイズ、母がカナダ3歳牝馬チャンピオンに輝いたワールドストライク、半姉のラナモン(社台コーポレーション白老ファームで繋養中)はG2ナタルマSの勝ち馬という血統。昨年9月のクレーミングレースで初勝利をあげた際に3万<sup>円</sup>(約330万円/当時のレート:1<sup>円</sup>110円で換算)で現オーナーに譲渡されましたが、その後は4月の前走G3ジェフルピーステイクスS(3着)まで5連敗。ここは当初補欠馬でしたが、出走取消が出たことに伴い、繰り上がりで出走が叶いました。S.レオン騎手、E.リード調教師はともにこのレース初制覇です。